



NPO 法人

The Hino citizen activities group contact meeting news

ひの市民活動団体連絡会ニュース



42号 平成28年5月15日

発行人：NPO 法人ひの市民活動団体連絡会 理事長 湯口 裕
編集：広報部会 〒191-0012 日野市日野 1369-27 TEL/FAX 042-581-6144
E-mail: hino-cagcm@tokyo.email.ne.jp URL http://hinokaturen.sakura.ne.jp/

NPO法人ひの市民活動団体連絡会「第1回通常総会」報告

平成28年4月17日（日）14時からひの市民活動支援センター2階会議室で、NPO 法人として初めての通常総会が開催され、当連絡会の土屋副理事長の司会のもと、湯口理事長の挨拶と来賓の日野市企画部大島部長のご挨拶に続き、地域協働課の熊澤課長ほか出席課員が紹介されました。

事務局から加盟37団体中35団体（出席19団体、表決権行使13団体、委任状3団体）で総会の成立が報告され、“NPO 法人日野人・援農の会”の佐藤さんを議長に選出し、議事に入りました。

冒頭に湯口理事長から27年度報告は、任意団体であった4月1日～5月14日までの1ヶ月分を含め年度通算して取りまとめて報告する旨説明されました。

第1号議案の平成27年度活動報告、会計報告、監査報告、第2号議案の平成28年度活動計画案、予算案については、予め全団体に配信された資料に基づきそれぞれの項目別に担当部会長から説明され、質疑応答の後に異議なく全員の承認で決定されました。

次に報告事項として①支援センターの開始時間変更に伴う運営状況、②印刷機等設備の利用者の拡大についての2点が溝口事務局長から説明されました。支援センターの運営は、昨年4月1日から窓口時間を従来の午後1時から3時間繰り上げ午前10時開始とし、市民相談対応や市民活動情報の迅速な収集と配信につ

とめ市民サービスの向上を図って参りました。また、地域協働課のご尽力でひの市民活動支援センターに大判印刷機が導入され、この有効活用が市民活動支援の一助となり、利用者の拡大が連絡会の会員を増やすための有効な手段として活用でき、市民活動の活性化への期待にもつながります。

総会終了後の懇親会には12団体18名および行政の方々にも参加して頂き、和やかな交流の場となりました。

NPO 法人としての初年度の活動を無事終了し、次年度に向け更なる活動の活性化を誓い合った総会でした。

← 〈懇親会の様子〉



↑ 〈総会の様子と出席された来賓の皆さん〉



みんなで考えましょう

—どのようなまちにしたいかを—

理事長：湯口 裕



当連絡会がNPO 法人となって最初の総会を迎えました。法人格を得たことにより、市民活動中間支援組織としてより一層存在感を高め、「市民参加のまちづくり」を目指して使命を果たしていきたいものです。マンパワーや活動資金の制約はありますが、これまでにやってきたことを一歩ずつ着実に前に進めましょう。

連絡会は、会員相互の協力と連携に加えて、市民による住みよいまちづくり・社会づくりの基盤整備と充実に寄与することを活動の目的としています。しかし、市民の力ではできることは限られています。行政との連携と協働が欠かせません。市議会からの応援も必要です。そのためには、連絡会がまちづくりに対してどのようなイメージを持っているのかを整理しておくことが必要です。

連絡会が産声を上げてから既に15年が経ちました。この間、社会の高齢化と少子化が進み、高度成長時代の終焉に伴う行政の財政問題など、社会情勢も随分と変わってきました。今後高齢化が益々進むことは確実です。そうした中、日野市が暮らしよく、元気あるまちであり続けるためには私たち市民は何をすべきなのでしょうか。今年は、市民が日野市をどのような「まち」にしたいと思っているのか、そのためには市民に何ができるのかを、市民の立場で考えてみてはどうでしょうか



会計報告

(単位：円)

科目	27年度決算			28年度予算		
	市受託対象	受託対象外	合計	市受託対象	受託対象外	合計
収入						
会費収入		173,000	173,000		180,000	180,000
受託収入	2,000,000	166,308	2,166,308	2,248,000	180,000	2,428,000
サポート収入(管理協力金)		240,356	240,356		190,000	190,000
イベント収入		82,010	82,010		55,000	55,000
雑収入		6,323	6,323		4,000	4,000
市民ファンド基金		24,415	24,415		20,000	20,000
小計	2,000,000	692,412	2,692,412	2,248,000	629,000	2,877,000
前年度繰越金		515,845	515,845		523,000	523,000
収入合計	2,000,000	1,208,257	3,208,257	2,248,000	1,152,000	3,400,000
支出						
支援センター運営人件費	1,620,000	150,480	1,770,480	1,770,000	30,000	1,800,000
支援センター運営諸経費	280,825	115,942	396,767	340,000	140,000	480,000
支援センター共益費		125,060	125,060		120,000	120,000
教育研修費		20,860	20,860	18,000	32,000	50,000
備品購入費		21,384	21,384		90,000	90,000
加盟団体交流費		30,084	30,084		50,000	50,000
イベント開催費		162,875	162,875		140,000	140,000
広報関係費	99,175	58,161	157,336	120,000	60,000	180,000
小計	2,000,000	684,846	2,684,846	2,248,000	662,000	2,910,000
次年度繰越金		523,411	523,411		490,000	490,000
支出合計	2,000,000	1,208,257	3,208,257	2,248,000	1,152,000	3,400,000

- 注) 1. 27年度決算はNPO法人へ移行前1ヶ月(27.4.1~27.5.15)分を含め年度通年としてまとめています。
 2. 市民ファンド基金の累計積立額は28,331 現在54,431円です。
 3. 28年度予算のうち市受託収入は前年比112%の2,248,000円を計上しています。

● 私たちの政治カフェ・日野

「私たちの政治カフェ・日野」は新たに誕生したばかりの団体です。言うまでもなく「政治」は私たち一人一人の生活や生命と密接につながっています。しかしながら、私たちの周りでは政治について話したり、考えたりする機会が大変少ないと思いませんか？また政治に無関心であったり、政治について話すことをタブー視する風潮があります。今、世情では平和と戦争、憲法改正、格差社会、貧困、原発や核兵器、等々の言葉が飛び交っています。今を生きる私たちは、この先子供たちや孫たちにどのような社会を残すべきかという責任があります。

当団体は「政治」について、党派や信条を超えて一市民として「政治」を他人任せにしないように、自由に忌憚なく学び・話し合う「場」として誕生しました。みなさまのご参加をお待ちいたします。



〈月に1回の例会風景〉→

● 成年後見サポートひの

当法人は、高齢社会の中で、誰もが豊かに自分らしく暮らせる社会を目指し、市民による市民のための後見人制度の活用をしたいという思いから設立した団体です。当法人が目指すものは ①成年後見制度の説明会・相談会の実施 ②任意後見人の受任 ③市民後見人の研修・育成を視野に、経済的・親族等に恵まれない日野市民の方のために機能を持つべく、真剣に取り組んでおります。

当NPO主催の勉強会も5回目を迎えます。このような勉強会の中から、お一人でもお二人でも同じポリシーをお持ちの方とお会いできることを期待いたします。



〈勉強会の様子〉→

「まち活」報告

平成28年2月11日(木・祝)13時30分から日野市生活保健センター3階集会室で第2回「まち活」が開催されました。このまち活にいかにか多くの来場者を迎えるかが今回のキーポイントであり、このためにNPO法人サポートセンター(プロボノ)による効果的なチラシ作成に焦点を当てました。チラシにはプロボノからのアドバイスに基づき“市民活動したい人募集中”と明示したこと、新たな広報手段としてJ:COM放送や毎日新聞への掲載が功を奏し、昨年に比べほぼ倍の43名の来場者を迎えることができました。またイベント開催が目立つ様センター正門に看板を立て、建物入り口にも案内板を掲示、会場入り口には花を飾るなど設営を工夫した結果、参加者は18団体56名のほか支援スタッフも含め総勢110名が集い、大いに会場を盛り上げました。各ブースで市民の皆さんと団体スタッフがやり取りする



中、絶妙なタイミングでマジックの実演や混声合唱も披露され、会場に華を添えることができました。この結果新たな活動の仲間を得た団体は5団体、活動成果の利用者を得たが3団体となり、相応の成果を得られたと考えています。一方参加団体同士の紹介や意見交換が昨年同様に活発に行われ、全体の6割強が他団体との交流ができたことを評価しており、人と人とのつながりが大切なことを物語っています。これらを共通認識し、来年もさらに活発な“まち活”となるよう手をつなぎ推進して参りましょう。

「ボランティア・市民活動におけるリスクマネジメント ～事故の防止と軽減～」研修報告

市民活動実践中の事故や災害等は誰にでもどのような状況でも起こるもの、発生すれば参加者の活動意欲や団体の信頼低下を招きます。市民活動を楽しむものとするためには“リスク”を想定して被害を最小にするリスクマネジメントが必須です。

平成28年3月12日(土)14時から日野市生活保健センターにおいて、東京ボランティア・市民活動センターの熊谷紀良氏を講師に招き、「ボランティア・市民活動におけるリスクマネジメント」研修が行われ、自治会や市民活動団体等から62名が参加しました。参加者の過去の体験を元に、その効果的な予防や対処方法をワークショップ形式で行い、様々な視点で意見を交換し合い、「大変参考になった」と好評でした。

リスクには、①活動者自身のケガや病気、②他人の財産を損壊させる事故、③法令違反、人格権侵害、盗難、④提出すべき書類が未提出、個人情報流出などがあります。これらのリスク回避を行うには、危険予知活動(危険を予知することで、“心の余裕”を作る)が大切です。どういうリスクが何処に潜んでいるかしっかりと見極め、対策(発生防止、損失規模軽減、発生の可能性回避、第三者への移転、保管分散等)目標を立て、活動団体と活動者の双方が協働して取り組む必要があります。

リスクに効果的に備えるための要点は、①行動はグループ単位で、②ポイントは覚えやすくシンプルに、③訓練・講習・振返りの実施、④実例に学ぶ・みんなで高める、⑤ボランティア保険や行事保険の確認と活用、を実践することです。現場のリスクを回避し楽しい市民活動を続けていきましょう！

注) ボランティア保険・行事保険は日野市ボランティアセンター(☎042-582-2318)で申込可。

事務局便り

- 支援センター一斉清掃 … 5月22日(日)9:00～ 終了次第、懇親会を行います。

市民活動の仲間と知り合う絶好の機会です。この機会に仲間と交流して見ませんか！

- ねんも公園の一斉除草 … 6月5日(日)9:00～

作業は午前中。終わり次第解散となります。公園は建物が解体され駐車場が撤去されました。できる限り公共機関をご利用下さい。

- 支援センターに大判印刷機導入 … 地域協働課のご尽力で当センターに大判印刷機が導入されました。

ポスターや横断幕などのカラー印刷が低コストで利用できます。

大いにご活用して下さい。



〈ベンチが新設されたねんも公園〉

つぶやき

今年の2月から広報部会に参加しております。会報印刷の為、支援センターの印刷機を利用させていただく関係で「ひの市民活動団体連絡会」との接点があります。溝口事務局長にお話をいただいたことがきっかけですが、他団体の皆様のことは何一つわかっておりません。広報部会の皆様にも様々なことを教えていただきながら、ついて行ければと思います。

(日野走友会 佐藤 盛雄)